



3 2026

発行所 大阪府中央区玉造2-24-22 カトリック大阪高松教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700 (代表) TEL (06) 6946-3223 (直通) FAX (06) 6946-3224 (直通) E-mail: kyokuhou@osk.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。ご希望の場合は下記まで申込み「点訳版(点字本)」教区報 TEL 06-6946-3223 (直通) TEL 06-6946-3224 (直通) 「音訳(テープ・デジ)」山口さん TEL 0798-22-1649

☆ 教区宣教司牧評議会 ☆ 教区修道女連盟研修会 ☆ 希望の巡礼者 広報委員会へのEメールアドレス: kyokuhou@osk.catholic.jp

☆ クリスマス行事 ☆ バチカンニュース ☆ ウクライナからの祈りの願い (2面) (3面) (4面) (5面)

『教区報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

# 災害から考える防災の備え



## 防災に関する注意事項

3月11日の東日本大震災から15年目を迎えるにあたって、カトリック芦屋教会信徒で芦屋防災士の会・理事をされている防災士の田島弘之さんに、大阪高松教区内で発生が予測される大規模災害にあたって、災害を恐れずに備えることと、起こりうるリスクについてお聞きした。

Q1 地震にはどのような種類がありますか？

A 地震には3つの種類があります。① 海溝型地震(プレート境界型) ② 直下型地震・内陸型地震(活断層型) ③ 火山性地震

① 海溝型地震(プレート境界型) 海のプレートが陸のプレートの下に沈み込み跳ね返ることで発生。巨大な地震になりやすく、大規模な津波を伴うことが多い。小さな縦揺れの後、大きな横揺れが数分続きます。

② 直下型地震・内陸型地震(活断層型) 【例】東日本大震災、南海トラフ巨大地震(想定)

陸のプレート(地盤)の浅い場所にある断層がズレて発生。生活圏の真下で起こるため、震源が浅い場合は大きな被害をもたらす。下からドンと突き上げるような強い縦揺れ、または激しい横揺れで揺れる時間は比較的短い。

【例】阪神・淡路大震災、熊本地震、大阪北部地震

③ 火山性地震 火山の噴火やマグマの移動に伴い、火山周辺で発生。マグニチュード5以下の比較的小規模なものが多く、震度は小さいことが多いが、まれに大地震となる事がある。

Q2 大阪高松教区内で発生が予測される地震は？

A 海溝型地震(プレート境界型)と直下型地震です。Q3 南海トラフ地震の30年以内の発生確率とリスクは？

A 30年以内の発生確率は、80〜90%。マグニチュード8〜9クラスの地震が海底で発生するため、大津波が沿岸部に襲来することが予測されています。

Q4 津波警報が発令されたら？

A 直ぐに高台または津波避難ビルに避難してください。海岸の近くや標高の低い土地で強い揺れや長くゆつくりとした揺れを感じる時は津波襲来の可能性があります。

Q5 直下型地震の発生予測は出ますか？

A 直下型地震は海溝型地震以上に予知が出来ないと言われていています。

未発見の断層もあり、いつ地震が発生しても不思議でない状態と言われていています。

Q6 地震への建物・家具の備えは？

A 建物の耐震診断に基づいた耐震補強と家具などの固定化による転倒防止対策が重要です。建物や家具の倒壊による圧死、窒息死が多いと言われています。

Q7 地震発生後の自宅を離れる際の注意点は？

A 停電回復後の通電火災が多く、自宅を離れる時は火の元の確認と共にブレーカーをオフにしてください。Q8 一時避難場所と避難場所の違いは？

A ① 一時避難場所：津波や洪水、大規模火災などから一時的に命を守るために避難する場所。トイレや食料などはありません。② 避難所：自宅を失った人が、復旧までの「一定期間」生活を送るための拠点。多くは体育館を避難所として指定しておりますが、収容人員は300名程度で都市部では人口の数%しか収容できません。また食料・水・トイレなども住民全員に十分な備蓄はありません。

Q9 自宅では何をどれだけ備蓄すればよいですか？

A 上下水道や電気が止まりますと、トイレの水を流せません。水・非常食・簡易トイレに加え、トイレレットペーパー・汚物を入れるビニール袋・常用薬・衛生生

理用品などは、家族の人数分の1週間程度の備蓄を心掛けてください。

Q10 津波警報発令時の持出品は？

A 津波警報発令時は時間との勝負ですので、予め必要な物を持出用リュックなどに入れ玄関脇に準備し、それを持ち高台または津波避難ビルに避難してください。

Q11 直下型地震後の行動は？

A 緊急時にどこに避難するか、予めご家族で決めておいてください。

一時避難場所はどこも混雑します。安全な避難場所を予め家族内で決めておいてください。

また災害用伝言ダイヤル171の使用法を家族で共有してください。

(聞き手 広報委員会編集部)

## 災害用伝言ダイヤル171

**いまできること**

もしもの時はお父さんの番号に伝言して

■ 災害用伝言ダイヤルが使えることを家族の間で共有

■ 伝言を残す電話番号を決めてメモしておく

**伝言を残す**

171ダイヤル

1 入力

連絡をとりたい人の電話番号を入力

30秒以内にメッセージを残す

**伝言を聞く**

171ダイヤル

2 入力

お母さん、ちゃん代です。私は会社について無事ですよ。クワカありません。

録音に使われた番号を入力

伝言が再生される

**伝言ダイヤル 体験利用日**

毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間、防災とボランティア週間にダイヤルすると体験利用ができます。

**入居者、スタッフ募集**

株式会社 ガラシア WINGS

サービス付き高齢者住宅

**ドムス ガラシア**

入居者を募集しております。また、看護師、介護職員を募集しております。皆様ご協力をお願い申し上げます。

TEL 06-4960-8020

info@gratia-wings.jp

担当 奥本、濱口

2020年9月、尼崎市園田教会の隣に開業。信徒、修道者、司祭のケアを提供。

# シノダリティの実践に向けて



識別と分かち合いで深めるシノダリティの場

今年(2021年)に始まったシノドスの歩みがいよいよ実践段階に入っていく年であることを受けて、一人ひとりが生活の中でシノダリティをどのように実践できるのかを考え、分かち合う場を持つことを目的とした。教区報1月号で発表された新年メッセージをもとに、まずは前田万葉大司教から教区としてこれまでに取り組んだ活動とこれからの展望が説明された。次いでシノドスの活動に数多く参加されている高山徹神父よりシノドス最終文書の説明があり、回心・識別・賜物の交換といった大切な要素に触れる事ができた。

1月17日、第4回となる教区宣教司牧評議会が開催された。始めの祈りの中では、奇しくも阪神・淡路大震災の日と重なった事もあり、被災された全ての人のために黙祷がささげられた。

## 第4回 教区宣教司牧評議会



シノドスの実践を考え、共に歩む教区の集い

その後、グループに分かれて感想を分かち合い、そのまま昼食を共にした後、酒井俊弘補佐司教よりシノドスにおいて強調されている識別についての説明をいただいた。色いろな声を聴き合う中で聖霊が私たちにどの方向に導いておられるのかを認識する歩みが識別であるが、その後のグループでの分かち合いでは難しいとの感想がありながらも、この方向性が無いと一致に向かえない、聴く事で新たに見えるものもある、とにかくやってみるしかない、といった気付きや力強い声もあった。

シノドスの転機とも言えるこの年、聴く事の広がりから同じ福音の喜びを多くの人と共有できるよう、ますます祈り合っていきたいと感じた。

(文 教区宣教司牧評議会 運営委員会 大久保武)

## 大阪高松教区修道女連盟研修会 イエスと出会い直し、 神の慈しみを示す存在へ



1月10日、サクラファミリアにおいて、修道女連盟研修会が行われ52人の修道者が参加した。

「第三の千年期、キリストからの再出発を生きる教会と共に歩む奉獻生活」をテーマにカルメル修道会の中川博道神父様からお話を伺った。

21世紀を迎えて、世界が動いていく中で、イエスを追い求めて生きていく私たちの生活を見直していくことや人間の心を満たすことが必要であり、もう一度イエスと出会い直すこと、私たちと出会った人たちに、神と出会えたと感じさせていくことが、私たちの義務と話された。また、聖書に救いの歴史の決定的な場には、高齢者の存在があり、高齢になれば受けとめることのできない恵み、使命があること、そして、私たちの役割は、活動ができなくなったらおわりではなく、ここからが本番であり、しあわせを見つけだすことを模索し、使命を果たすことに招かれていると結ばれた。



講師 中川博道神父(カルメル修道会)

### 【参加者の感想】

救いの歴史を切り開いてきた人びとの多くが高齢者であり、高齢になれば受け取れない恵みがあることに大きな励ましを受けた。奉獻生活を生きる中で高齢化は避けられない現実であるが、そこには長年培ってきた経験や歴史を見つめてきた歩みがある。

今こそが本番であり、なお使命が与えられていることを喜びとして受けとめたい。高齢者は人間が単純さを取り戻し、観想へと向かう時期であり、高齢でなければ果たせない役割がある。神から与えられる使命を喜びをもって生きていきたい。

(文 教区修道女連盟)



高齢期の恵みと使命を喜び、共に歩む奉獻生活



## 2025年希望の聖年 希望の巡礼者

2024年12月24日から始まった聖年「希望の巡礼者」は2025年12月28日をもって終了いたしました。この期間に、個人・団体で行われた取り組み、また巡礼で生まれた交流や巡礼に出かけて印象に残ったことをお寄せいただきました。

9月27日、紀泉ブロック(泉南・岬・紀の川)は、主任司祭イポリト・ヴィタ神父を団長に聖女シスター・ルーチアさんからの幼稚園児1人を含む信徒たち、計28人で希望の巡礼に出発した。行先は加古川・姫路・相生の3教会。素晴らしい祭壇画に心打たれながらミサをささげた加古川教会。近くのお城に劣らぬ佇まいの姫路教会では昼食の場を提供いただき相生教会では「おもてなし」の精神を体現する金台根神父様に迎えていただいた。そして何より笑顔と温かい心で私たちを迎えてくださった、3教会の信徒の皆さんに出会えた喜び。3教会で受けた感動と湧き上がる感謝。改めて共に集い祈ることの大切さを心に刻んだ28人。巡礼とは「神との繋がり」を再確認すること。すべてが神の恵み、聖霊の豊かな息吹。

加古川・姫路・相生教会の皆様、ありがとうございました。  
紀の川教会 前田しのぶ



加古川教会にて

私の職場では10年に一度リフレッシュ休暇が与えられる。リフレッシュ休暇には五島に行きたいとずっと思っていたが、その年がなんと通常聖年と重なった。10月初旬に司教様とともに行く巡礼ツアーに単身申し込み、バスで関東の教区の方と隣になった。その方がロザリオを作ってもすぐに壊れてしまうと言われ、10月の『こじか』に「ロザリオの長崎編み」が載っていたことを思い出し、



ロザリオの繋がり

WEBでも見られることをお伝えすると、紙のほうがいいから送ってほしいと言われ巡礼帰宅後に郵送した。数日後、「長崎編みロザリオ」の記念すべき第一号が届いた。10月はロザリオの月。巡礼での出会いとその後も続く交流に感謝し、再会を願いながら、記念すべき第一号のロザリオでお祈りを続けている。

明石教会 藤井美佐さん

はじめに相生教会へ、そこで目にしたのは通路のたくさんのストラでした。「歓迎します」と迎えていただいた気分でした。祈りの内に相生教会のスタンプを押してその後、大阪を巡り大東教会では神父様の出迎え、救しの秘跡を受け、心の癒しを感じました。玉造教会ではインターナショナルデーに訪問しました。桜町教会では地下聖堂での朝ミサに与り神父様、信者さんと一緒に写真を撮り、希望の巡礼者の記念になりました。「希望の巡礼者」は私の信仰に一步踏み出す勇気と人との巡り合いに感謝し誠実に歩む道を示してくださいました。神に感謝。



桜町教会地下聖堂

明石教会 小池正敏さん

教会の大先輩であり、過去に韓国の巡礼に連れて行ってくださった方から四国の巡礼を計画してほしいと言われ、四国の巡礼指定教会を5カ所と安芸礼拝所をめぐる巡礼ツアーを計画しました。事前に四国の教会の方々に連絡していたので何の問題もなく、順調に素晴らしい巡礼を終え、この勢いで暑くなる前に大阪、神戸方面も訪問することを考え、6月3日に完走しました。今回の巡礼で少しは自分自身を見直す事ができたのではないかと感じています。四国巡礼教会の皆さま、お世話になりありがとうございました。



安芸礼拝所

今市教会 榎原宮子さん

7月26日～8月2日まで聖年のローマ現地ボランティアに応募しました。宿泊所のドームス・スペイに集合し、レンジでお昼ご飯を温めていただき、ボランティアインフォメーションまで各国から集まったボランティアの皆とともに歩き、支給されたボランティアベストと帽子を身につけリュックと水筒を持って、さっそくサン・ピエトロ大聖堂へと。聖なる扉の前での人員整理がはじめの仕事でした。午前6時から午後6時間のどちらかのシフトで、主な仕事はサン・ピエトロ大聖堂での巡礼者のサポートでした。青年の祝祭のイベントがある時は、警察のセキュリティチェックのお手伝いをし、パパ様がパパモービルでお通りになる時は群衆が飛び出ないように手を広げてガードした夜もありました。貴重な体験をしました。神に感謝。



サン・ピエトロ大聖堂を背にボランティア仲間と共に

松山教会 山口理奈子さん

2025年1月から巡礼を始め、11月に巡り終えることができました。寒さの中、暑さの中、時には道に迷いながらもさまざまありました。教会を求め歩く旅人そのもののような気がします。ゆく先方で温かく迎えてくださり、自分もそうあらねばと思いました。ほんの2、3教会でいいと思っておりましてのに、すべて巡礼できたことは神の恵みと感謝しております。

六甲教会 箱崎久美さん

聖年「希望の巡礼者」として、日生中央教会では7月21日(海の日)、信徒会企画ではなく主任司祭主催による巡礼として、共同司教座聖堂・桜町教会への訪問を45人の参加者で行いました。教会からご聖体を持参し、畠基幸神父さまは「このバスはイエス様と一緒にです」と話されました。出発時から車内をお御堂になぞらえ、「光の道行き」の祈りの中で黙想の時を過ごしました。



桜町教会聖堂

桜町教会では、ゆるしの秘跡(告解)、聖体賛美式、分かち合い、共同祈願の作成など充実したプログラムが続き、最後に「希望の巡礼」ミサがささげられました。聖体拝領時には「マラナタ」が歌われ、公式聖歌「希望の巡礼者」で締めくくられました。3連休最終日にもかかわらず渋滞もなく、安全に帰路につくことができ、参加者の満ち足りた表情が印象に残る、恵み豊かな巡礼となりました。

日生中央教会 伊豆 章さん



公式賛歌



記念動画



巡礼冊子

巡礼指定教会である姫路教会には聖年の期間中に個々に電車又は乗用車で、あるいは小教区、ブロック単位で貸切バスにより約650人余りの信徒の方々や、シスター方が「希望の巡礼者」として来訪されました。これらの方々には相生教会、加古川教会へも同時に訪問されています。そして、ミサに与る巡礼団、お祈りされるグループあり、それぞれの聖年の恵みをいただき信仰を新たにし帰途につかれました。巡礼団としては、愛徳姉妹会、愛徳カルメル会、大阪田辺・平野教会、垂水教会子ども会、桜町教会、仁川教会、紀泉ブロック、神戸中央教会、いずみブロック、吹田教会の方々との出会いがあり、姫路教会を知っていただき、またふれ合いの良き機会となりました。世界遺産「姫路城」の特別史跡内にある姫路教会へまたどうぞお越しください。



ルーチェ春板作製

姫路教会 吉岡琮宣さん

住吉教会の金台根神父様に導かれ、釜山に行くまでは韓国に行きたくないと思っていました。しかし、それは見事に覆されました。山奥に逃れた信徒や司祭がおられた教会の資料館に、歴代の司祭の白黒の写真が天井近くに並んでいました。その目が殉教を覚悟した静かに憐れみに満ちた目で衝撃を受けました。濟州島では島民が校庭に集められ銃殺された事件があったこと、濟州島最初の殉教者が殺されたあと、よみがえってはいけなくて胸に大きな太い釘を打たれた事など、知らないことだらけでした。ソウル巡礼の最終の巡礼地は、イムジン川のそばにあり、今まで南北統一を祈ったこともなく、祈りの磁場の中での巡礼に感動しました。韓国のイメージは、ピンク色で激しい感じでした。でも、ペトロ金神父様が卒業された神学校のお御堂のステンドグラスはそれとは対極に深く静かな落ち着いた色でした。いのりのなかで。



歴代司祭の写真

芦屋教会 平田ひろみさん

巡礼ツアーに参加できず、一人で回りました。寂しい思いをするかと思いきや、各教会の方々と交流ができ、大阪高松教区は一つの共同体であることを実感しました。加古川教会ではお茶の接待をいただきました。高槻教会ではベトナム人信徒のロザリオのお祈りに参加しました。和歌山教会では講演会と福音宣教を願うお祈りに参加しました。大東教会では信徒の方から河内キリシタンの歴史を伺い、キリシタン史跡を見て回ることができました。



松山教会で感じた命の尊さ

巡礼地の最後松山教会では、教会を出た直後、目の前で自動車が衝突しました。後、もう一步前に出ていたら天国に召されていました。巡礼を終え、このお恵みを自分だけのものにしてはいけない、罪の重荷に苦しむ人、悩みを抱える人たちに、良い知らせ、福音を伝えていくことが大切なのではと考え始めています。

夙川教会 森井秀文さん

(広島教区)大西勇史神父と行く「希望の巡礼」に参加しました。イタリアで「希望の巡礼者」として歩いた。サン・ピエトロ大聖堂で平和の挨拶を交わしたとき、数万人の人びとが同じ平和に向かって祈りをささげていると感じ、その一体感に強い神秘を覚えた。言葉や国籍を越えて心が結ばれる体験は、希望とは孤独の中で抱くものではなく、人と分かち合う中で生まれるものだと教えてくれた。この巡礼は、信仰と共に生きる力を新たに与えてくれた。

和歌山紀北教会 場野雛奈子さん



# ともに喜び、祝った クリスマス



## 箕面教会

### 超教派 箕面駅前で響くクリスマス・キャロル ♪

12月14日、阪急箕面駅前ステージにて、近隣のキリスト教諸教会合同による「クリスマス・キャロル」を開催しました。子どもたちを含む総勢40人の合唱団で、合同の紹介チラシも配布しました。教区報への報告は初めてですが、箕面では毎年恒例の行事です。当日は好天に恵まれ、足を止めて聴き入る方や温かい拍手をくださる方も多く、寒空の下、心は熱くキリストの祈りを届ける豊かなひとときとなりました。



当日は好天に恵まれ、足を止めて聴き入る方や温かい拍手をくださる方も多く、寒空の下、心は熱くキリストの祈りを届ける豊かなひとときとなりました。

(箕面教会広報担当 久保田小織)

## 今治教会

### 国籍を超えてともに祝うクリスマス

12月24日19時、ご聖堂は灯りを落とし、聖歌とキャンドルの柔らかな光に包まれてクリスマス夜半ミサが静かに始まりました。国籍を超えて多くの方々が集い、神父様と私たちはイエス様の誕生を心から祝い、その恵みに感謝を捧げました。サンタクロースから子どもたちへの贈り物もあり、教会内には温かな喜びが広がりました。ミサの後は、恒例となった国際色豊かな音楽グループの演奏と歌声が聖堂内に優しく響き、フィリピンやベトナムのお料理もいただきながら皆で楽しく歓談しました。ビンゴ大会では集まった人びとの笑顔が輝きました。



(今治教会広報委員 新居田典子)

## 今治・若葉幼稚園

### クリスマスの喜びに満ち足りた子どもたち

12月13日にクリスマス会を開催いたしました。開催前から寒い中、多くの保護者の方々が並んで待ってくださっていました。今年度も神父様がお出席くださって長時間にわたってご覧くださり、挨拶もしていただきました。その中でクリスマスの意味や歴史を具体的にわかりやすく伝えてくださり、うなづきながら聞いているご家族も多かったように思いました。

第1部は満3歳児、年中の子どもたちが、神様にお誕生の喜びをどう伝えようか、どんなことなら自分たちも楽しくできるのかを考え、ダンス・手遊び・歌・楽器遊びなどを表現しました。きっと神様も目を細められたと思います。



第2部は年長児による聖誕劇です。暗闇の中34人の天使が手に手にローソクをもち、ゆらめく灯りの中登場し荘厳な雰囲気の中で始まりました。1幕から6幕に分かれイエスさまのご誕生までを一人ひとりが役になりきり、日頃と違う表情で演じる姿を目にした時、子どもたちのところに神様がお側に来てくださったのではないかと思ったほどでした。演じ終わった子どもたちの表情は明るく清らかで、喜びに満ち足りていました。

第3部は、年長の子どもたちと職員、そして大勢の保護者、家族が聖堂を埋めつくす中、クリスマスの感謝の集いをおこないました。共同祈願などの奉仕はこどもたちが行い、クリスマスの出来事とその意味を分かち合い、神さまがひとり子イエスさまを私たちのもとに送ってくださったことに感謝し、みんなで祈りをささげました。

集いの後、教会からプレゼントが配られ、子どもたちは喜びのうちに帰っていきました。

きっと今日の日を忘れないで、心の奥深くに大切な思い出として残っていくでしょう。神様、幸福を本当にありがとうございました。

(若葉幼稚園長 呼石志津子)

## 垂水教会

### 合同中高生会 明石・たかとり・兵庫・六甲教会とともに

12月21日に神戸地区合同中高生会「クリスマスの集い」が垂水教会にて行われ、明石、たかとり、兵庫、六甲、垂水の各教会から、中高生34人、司祭・シスター・リーダー17人、総勢51人が集まりました。

絆を深めるゲームでは初めて出会う仲間同士もすぐに打ち解け、夕方からはキャンドルサービスが行われ静寂の中で共にみことばを味わい自分自身を振り返りました。

夕食では餃子鍋を囲み、ビンゴ大会も行い、最後は特大のクリスマスケーキを分け合い、来年も再び集えることを願いながら集いを終わりました。



### 子ども会「大丈夫、神さまがまもってください」

12月24日に、子どもたちによる聖劇が行われました。練習時間が限られる中、家庭で練習するなどそれぞれが精一杯の努力を神様におささげしました。劇中でのマリア様の言葉『大丈夫、神さまが守ってください』が、子どもたちのこれからの人生を支えてくださいますように。会衆で見守る大人たちは温かな気持ちとなり、主の御降誕の訪れを感謝の内に味わいました。



### ともに一年を振り返り、神さまと聖母マリアに賛美と感謝

12月28日は聖母マリアに捧げる感謝のコンサートが行われ、垂水教会の1年の行事をスライドで振り返りました。コンサートは『皆さんの働きは私にとって本当に大きな恵みでした』と神父様の感謝の言葉で始まりました。

ギターやヘルマンハーブの演奏では、素朴な響きが祈りを招き、聖歌隊合唱、オルガン演奏、ソプラノ独唱と続き、最後には会衆もともに「大きな愛に」「希望の巡礼者」を合唱して、人間のこれまでの歩みをともにされ、これからも歩んでくださる神様と、母として働いてくださる聖母マリアに讃美と感謝をささげました。



### 父の愛情に触れたクリスマス

12月30日に高校生、大学生とアマド・カバレロ神父様との「クリスマスの集い」が行われ、高校生、大学生18人、大人6人の24人が集まり、すき焼き鍋を囲みました。地方の大学へ通うなど普段は離ればなれでも、教会で共に育った仲間はその時間を感じさせず、昔のまま。「ここがあなたたちの教会であることを忘れないでください」と神父様が皆に語りかけた言葉が心に残っています。一人ひとりにクリスマスプレゼントを用意されて、受け取った皆は父の愛情に触れて童心にかえり、ここが自分たちのHomeだと感じてくれたように思います。



父の愛情に触れて童心にかえり、ここが自分たちのHomeだと感じてくれたように思います。

### フィリピン人共同体の新年

12月31日に30人余りのフィリピン人の方々がミサを祝うために垂水教会に集まりました。これはフィリピンの人びとが新年を迎える伝統的な習慣です。

(垂水教会 中島愛子)





# バチカンニュース 希望の聖年閉幕

希望の聖年は、教皇レオ14世が司式した「主の公現ミサ」で公式に閉幕した。ミサに先立って教皇は聖ペトロ大聖堂の聖なる扉を閉じる儀式を執り行った。

儀式は、大聖堂のエントランスにあたるアトリウムで開始され、聖年のテーマである「希望の巡礼者」の賛歌が響く中、教皇は聖なる扉の前に立ち、集まった信者たちに向けて語りかけた。教皇は、この1年を「神のいつくしみのもとに命の道を探し求めた歩み」と振り返り、この扉をくぐった無数の巡礼者たちの祈りに触れ、キリストの愛が回心と平和への追求を促したことへの感謝を述べた。

また、教皇はこう語った。「扉を閉じた後も『善き牧者』である神のいつくしみの『門』は決して閉ざされることはない」と強調し、神は『常に疲れた人を支え、倒れた人を助け起こして、ご自分に信頼する人びとに『良いもの』を与えてくださる』。さらに、信者たちが世の光として、絶望のない希望の証人であり続けるよう祈りをささげた。

その後、教皇は聖なる扉を閉じた。世界の中の信者と共に歩んだ「希望の巡礼」にひとつの区切りをつけた。

「主の公現」の祭日(2026年1月6日)、バチカンの聖ペトロ大聖堂にて、2025年度「通常聖年」の閉幕を告げる儀式が執り行われた。教皇レオ14世は、2024年12月24日の開幕以来、約1年にわたり開かれていた「聖なる扉」を閉じ、世界中の信者と共に歩んだ「希望の巡礼」にひとつの区切りをつけた。

## 教皇レオ14世 「バチカンの聖なる扉」を閉じる

### 加古川教会

#### 協力あつての朗読聖劇

12月24日18時半からの聖劇のため、12月初めから10人の子どもたちで練習を始めました。

子どもが少ないのと、全員が一度に揃わないので朗読劇と歌を用意しました。役によっては練習がうまく進まないでグループで練習をすることになりましたが、中学生が進んで手伝い協力してくれたおかげでとてもいい感じになりました。このように練習やりハーサルではなかなか難しい状況でしたが、すばらしい本番となりました。

24日は平日で、聖劇の始まりも夕方でしたが、保護者の方たちの協力なしではできない事だと思います。



(加古川教会 アグネス会)

### 和歌山紀北教会

#### 和歌山信愛・教会学校の子もたちとともに

12月21日、屋形町聖堂にて開かれました。毎年、教会学校の子もたちのハンドベル演奏と、和歌山信愛中学・高等学校の合唱とハンドベル部の演奏会を企画していたのですが、今年は少し趣を変えて、例年の演奏に加え、教会学校の中高生とリーダーによる朗読劇や信愛大学の管楽器アンサンブルと合唱部、信徒のオルガン独奏と盛りたくさんの内容となりました。



特に、初めて参加くださった大学生は、「卒業間近にこのようなイベントに参加でき、聖堂でのミサに初めてあずかることもでき、良い思い出になりました」と、とても喜んでくださいました。

(屋形町聖堂信徒会長 場野幸代)

## 第2回国際高齢者パストラルケア会議

### ウクライナからの祈りの願い

日本カトリック司教協議会の依頼により、バチカンの信徒家庭省、高齢者部門が主催する第2回国際高齢者パストラルケア会議が、2025年10月2日〜4日までローマのイエズス会総本部で開催された。

これは2020年に開催された第1回会議、テーマ「人生の豊かさ」につづくものでした。この会議の後に、フランシスコ教皇は、「祖父母と高齢者のための世界デー」を設立され、今回は、レオ14世教皇がフランシスコ教皇の路線を引き継がれて、第2回となりました。この会議に基づき、日本のカトリック教会のあり方は、後日司教協議会が発表されると思います。

会議参加者は65カ国の司教協議会からの代表者と日本からは、当方一人のみの参加でしたが役割を担いつつ、さまざまな国の方々と交流がありました。その中でもウクライナ国信徒との出会いがありました。



左からシム・ピンさん(台湾)、2番目はリリー・クズミアクさん(リビュ市)、3番目はクリスティナ・レシェティロ・コヴァルチュクさん(リビュ市)

ご存じのようにウクライナ侵攻は未だ終息を見えず、国民の苦しみは続いています。上記会議にウクライナ国の代表としてリビュ

市から2人の女性信徒が参加し、英語グループのメンバーとして共に討論に参加しました。そのような彼女らに現地の様子を尋ねると、涙ぐむばかりでした。そして、日本が地政学的に同様の境遇にあり、また多くの支援をウクライナに送っていることも感謝していると述べられました。

私たちが今すぐにはできることは共に祈ることのみです。彼女たちは、次の祈りを唱えてくれることを願っています。どうぞあなたの祈りの端に加えてくだされば幸いです。

(文 日本カトリック看護協会会長/国際カトリック看護協会理事  
八幡浜教会信徒 清水裕子)

## ウクライナのための祈り

- ウクライナのために、私たちの自由を奪おうとする者たちに抵抗する力強い国であり続けることができますように。
- 日々、計り知れない重荷を背負っている未亡人、孤児、ボランティア、医療従事者のために。
- 捕囚されているすべての方々に、主が、この非人道的な試練の中で彼らを力づけ、無事に家族の元へ連れ戻していただきますように。
- 占領下で日々恐怖、圧力、危険に直面しているウクライナの方々に、神が彼らを守り、勇気を与え、この困難な状況下で彼らの奉仕を支えていただきますように。
- そして何よりも、心の回心のために。真の悔い改めなしに、永続的で公正な平和はあり得ないからです。

皆さまの祈りによるご支援は、言葉では言い表せないほど大きな意味を持っています。日本の兄弟姉妹が私たちと共に立ち上がっていることを知り、私たちは力づけられ、公正で永続的な平和への希望を深めています。

皆さまの思いやりと連帯に、改めて感謝申し上げます。皆さまと皆さまの小教区の上に、神の平安がありますように。

# 来て見よ



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

## サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく  
日時 4/23(木)10:30～12:00  
おはなし 和田幹男神父

4月開講予定◆聖書ヘブライ語講座  
日時 お問合せください

コレーン神父の聖書講座◆「A年の主日のみことばに生かされる」  
日時 3/9(月)13:30～15:00

和田幹男神父◆聖書研究講座「新約聖書概論」  
日時 3/18・4/15(水)10:30～12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)  
日時 3/2・3/9・4/13・4/27(月)17:00～18:30

祈りのよる◆灯りをかきみ、ともに祈る静かな時間を  
日時 毎月17日19:00～19:30

問 サクラ ファミリア  
☎06-6225-8871  
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

## 結婚準備講座

六甲教会  
日時 次回9/6(日)～9/27(日)14:00～16:00(4回)  
参加費 ¥5,000(2名)

問 ☎078-851-2846  
✉renraku@rokko-catholic.jp  
※事前要問合せ(年2回)

## 黙想会

宝塚黙想の家  
◆日帰り黙想会  
日時 3/26(木)・3/27(金)10:00～15:30  
指導 染野治雄神父(3/26) 山内十束神父(3/27)  
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会  
日時 3/6(金)17:00～3/7(土)15:30  
指導 染野治雄神父  
参加費 ¥9,000

◆新約聖書の世界への旅  
日時 第1(月)19:00～  
指導 山内十束神父

◆祈りを深めるための聖書の基本  
日時 第1・3(水)10:00～12:00  
指導 山内十束神父  
参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカテキズム  
日時 第1・3(水)10:00～12:00  
指導 染野治雄神父  
参加費 ¥1,000

◆柱の黙想  
日時 第2(木)10:00～12:00  
指導 山内十束神父  
参加費 ¥1,000

◆教会の教えと歴史  
日時 第4(木)10:00～12:00

指導 山内十束神父  
参加費 ¥1,000  
問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

## 講座・研修会

シノドス流の教会を求めて◆シノドス最終文書と「新生の明日を求めて」の読書会  
日時 3/21(土)13:30～15:00  
場所 四国カトリック会館  
主催・問 四国カトリック会館 ☎087-831-6659

絵本と聖書を語ってみましよう◆絵本と聖書の世界を身近に感じて活かす  
日時 3/13・4/10(金)19:30～21:00  
場所 ZOOMオンライン開催(QRコードより入室)  
主催・問 松浦信行神父 ☎087-831-6659

講座◆小さくされた人々のための福音  
日時 第3(金)10:00  
場所 神戸学生青年センター  
参加費 ¥1,000  
主催 神戸国際支縁機構  
問 岩村 ☎070-5045-7127

## 集い

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15～35歳までの若者の集い  
日時 第2(土)14:00～16:00  
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)  
問 レネ神父・水元 ☎072-232-8063  
✉osakaycw@gmail.com  
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ「エフファタ！」練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア  
日時 第2(日)19:00～21:00

場所 オンライン・パソコン使用  
問 障がい者委員会  
✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK  
日時 第3(日)14:00～16:00  
場所 姫里集会所  
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)  
申込 吉川まで ☎078-583-2525  
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

点訳ネット「レジナ」◆勉強会  
対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方  
日時・場所 奇数月 第2(火)13:30～15:00 姫里集会所  
偶数月 第2(水)13:30～15:30

北須磨教会  
申込 笠松まで  
問 ☎090-5661-4324 ☎072-722-0271  
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣  
対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません  
日時 第1・3・5(水)10:00～14:00  
場所 姫里集会所  
問 障がい者委員会  
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共済者の集い◆大阪梅田教会  
日時 第1(土)14:00  
問 高塚 ☎06-6921-0693  
◆加古川教会  
日時 第3(火)13:00～14:30  
問 森田 ☎079-426-5704

## 「性虐待被害者のための祈りとつぐない」第7回 テゼによる祈りの集い

日時: 2026年3月7日(土) 14時～15時  
場所: サクラ ファミリア  
(大阪北区豊崎3-12-8 TEL: 06-6225-8871)  
祈り: テゼと聖書による祈り

テゼの祈りは、短く覚えやすい祈りの歌を、何回も繰り返すことによって、心の奥にしみこむ祈り、体全体の祈り、人びとをつなぐ祈りとなっていきます。

教皇フランシスコは「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けることを2016年に決定しました。日本の司教団は教皇の呼びかけにこたえ、その日を四旬節・第二金曜日と定め、教区では大司教が前日の日曜日にミサをささげるよう、よびかけられました。大阪高松教区としては被害者の皆さまの苦しみを受け止め、キリストの教会として誰もが大事にされ、安心できる共同体になるための集いの開催を望み、年2回祈りの集いを行っています。今年度も引き続き祈りの集いを企画しました。「子どもと女性をとりまくさまざまな問題を通して「神からいただいたいのち」をもう一度深く味わい、人を備つけ、いのちの輝きを奪うことのないよう謙虚な気持ちでたたずみ、備つき苦しむ人のいのちが再び輝きを放つよう祈る時間を持ちたいと思います。どなたさまもご自由にご参加ください。



主催: カトリック大阪高松大司教区 ハラスメント対応委員会  
問合せ: 教区本部事務局 (06-6941-9700)

大阪のカトリック病院  
ガラシア病院  
信者の皆様、入院はガラシア病院へどうぞ!  
【一般病院との違い】  
\*チャペルが常駐して秘跡の授与ミサは、主日に病院と老健で交互にミサに与れない時は各部屋で「聖体拝領」さらに「病者の塗油」等は適宜に  
\*霊的ケアを専任の神父とシスターが担当  
〒562-8567 箕面市栗生間谷西 6-14-1  
☎072-729-2345  
医療法人ガラシア会(チャペル 松本信愛)

ひとりて悩まないで～私たちに聴かせてください～  
カトリック大阪高松大司教区  
ハラスメント相談窓口  
※委員会はハラスメント全般を視野に入れていることになりました。そのため、名称変更します。  
電話番号:06-6941-9718  
相談窓口受付時間  
月・火・金曜日(祝日を除く)  
午前10時～午後4時  
あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

行事等日程		
3月		
5 木	[常任司教委員会]	29 日 受難の主日(枝の主日)
6 金	性虐待被害者のための祈りと償いの日	31 火 教区会計年度末
19 木	聖ヨセフ	4月
20 金	教区召命の日	1 水 11時 聖香油ミサ 司祭経年祝(カテドラル)
21 土	大阪高松教区司教座 聖堂献堂(玉造)	2 木 聖木曜日(主の晩さん)
25 水	神のお告げ 10時半 顧問会・役員会(予算)	3 金 聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金
		4 土 聖土曜日
		5 日 復活の主日

案内・報告  
「大原文化センター(オプス・テイク)」  
▼フアックス廃止: アドレス送信先  
oharabunkacenter@gmail.com

3月司教予定  
「行事等日程」以外  
・3/1 紀泉ブロック黙想会(†S)  
・3/15 洲本教会黙想会(†S)  
・3/19 助祭・司祭候補者認定式(†M)  
・3/20 助祭叙階式(†M)(†S)  
・3/28 アチエス(†M)  
†M=前田万葉枢機卿  
†S=酒井俊弘補佐司教

美しい虹のように  
「それぞれが違う色で輝くからこそ、虹は美しい」神父様は、多国籍が進む姫路教会の姿をそのように例えられました。現在、姫路教会には日本人のほかベトナムやフィリピンなど、多様な背景を持つ兄弟姉妹が集っています。言葉や習慣の違いに戸惑うこともありますが、その違いこそが神様から贈られた輝きであり、恵みです。一つの色では描けない美しい虹のように、私たちが国籍を超えて集い、祈りを合わせる喜びが、これからは教会の希望の光となりますように。  
姫路教会 池上恭子

リスナーの方募集! 小さきテレジアの会  
「大阪高松教区報」を音訳し、データCDに録音して、大阪高松教区の視覚障害者の方々にお送りしています。データCDは、プレストーク・パソコン・MP3対応のCDラジカセで聞くことができます。  
●音訳というのは、一般に認識されている朗読とは、すこし違います。書かれている内容を正確に、あまり感情をこめすぎずに、ニュースを読むアナウンサーのイメージです。  
問合せ 夙川教会小さきテレジアの会  
☎ 0798-22-1649  
Fax 0798-34-3585  
担当: 音訳(ディジー)山口